

SSKW NPO法人

# 横浜マックニュースレター

横浜マックは、アルコール・薬物依存症者の回復と社会参加を支援します。

横浜マックのいろいろな話題はネットで「横浜マック」で検索してね。

2022. 9. 3.

7月13日

薄田音楽隊より薄田夫妻が来所、素敵なコンサートを開催して頂きました。



## 利用者の感想

実演で音が良かった。二人の方の息がぴったり合っていて良かった。機会があれば時々コンサートに行きたい。さすが、プロだなと思い素晴らしかった。Y・F

以前、生演奏を聴いたのは遠い日の事で今回、初体験の様な感じがしました。やはり目の前で聴けて良かったです。知っている曲が多くて懐かしかったです。とにかく感動しました。M・M

初めてマリンバを見て大きくてびっくりしました。目の前でバイオリン、マリンバの音を聴いて感動しました。二人のやり取りも面白かったのしかった。O・H

生演奏を近くで聴ける（滅多にない機会）よかった。昔の空気の波を感じた気がした。奏者のお二人のやりとりが楽しく又ほのぼのの感も有り癒された。M・K

久しぶりの生コンサートありがとうございました。知っている曲もかかり、楽しく過ごせました。また来年聴ける事を望みます。T・I



生で演奏を聴くと本当に感動する、と言うか感動させられる。全く楽器を出来ない訳ではないがピアノでも学ばたい衝動になる。普段は東北等を周っていると聞いたのでストリートでやる情報も有れば発信して欲しい。K・I

目の前で聴けて凄く良かったです。音も綺麗で心に響いてきました。お忙しいのはわかるのですが1年に一度また、聞きたい。Y・K

## 「横浜マックに繋がって」 I・Kさん

### 全2回(前半)

「アルコール依存症とは治る病気では有りません」と言われた時は「はぁ？」となりました。アルコール依存症ってただ飲み過ぎただけでしょう？自分は確かに普段、飲みすぎの類には入るけど、中々お酒が手放せないけど休肝日も作っているし、仕事中に飲むことなんてしてないよ。「入院をお勧めします」ってどうしよう？

そのうち医師の誤診でただの飲みすぎで飲酒量を減らしたら治ると言われて次回の診察が終わるころには何も不安は無くなっているはずだと考えていました。しかしその前に秋の健康診断の結果が来てしまい会社の産業医との面談があり仕方なく掛かりつけの医者を受診結果の報告であえなく周囲からも入院を迫れる。

次の診察時医師に入院の決断を相談すると「こちらはアルコール専門ではないのでこちらの専門病院を紹介します」と久里浜医療センターのパンフレットを渡され「県内でもアルコールに特化した専門病院なんですよ、紹介状を書きますから一度受診してください」紹介状を持って病院を出て帰宅し直ちに電話予約、一週間位で難なく予約が取れた。

この時、違う病院しかもいままで掛かっていた内科とは違ってアルコール専門だから、ここで「アルコール依存症」では無いと言われたらやはり誤診だったのだろうと期待した。

どこを見ても地元の田舎の病院と遜色ない歴史ある建物だった。受付を済ませ検査が終わり診察室の待合室の前で待ち、順番で呼ばれ自分の番になり診察室に入り検査結果の前に問診が始まる。問診が終わり、血液検査のデータから医師は「やはり、アルコール依存症で間違いないですね」オワタ…それから連々と入院中の治療の内容が話されていたが頭に入らず、入院する事実だけを頭にインプットしてかろうじて入院の予約をして帰路についた。

家に帰り田舎の家族に報告、少しずつ冷静になりつつ再度、パンフを見て荷造りをしつつ、これまでより一層酒にあおられる様になった、おそらく入院が決定になったからだと思う、どうせこれから治療に取り組まなければいけないのなら、それまでは溺れる程飲んでやろうと。

約二週間、入院までには年末年始をまたぎ、これまでの生活に輪をかける様に酒に浸っていた。入院前日から休みを取り、当日の朝まで酒を飲み自分はこの調子で病院までたどり着けるのだろうかとの考えがよぎった。

だが、近くに住む妹夫婦が早朝連絡をくれて入院までの道のりを車で送ってくれた。この時はフラフラだったが本当に感謝したものだ。病院に到着しどれだけの時間がたったのかは分からないが、少しずつ酒が抜けてきて、いよいよ病棟へ案内される、救われたのが最初は一人部屋という事で入院中の注意事項その他もろもろ、それから解毒の為に点滴を三日間行う事を説明され一人になってようやく落ち着き始めた。

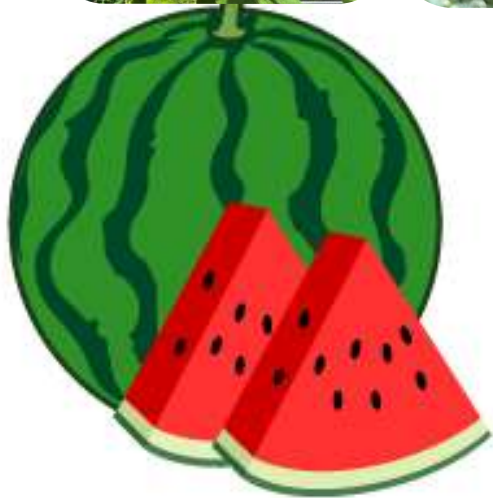
入院中、割と自由な時間もあった、入院中で入院患者、看護師、医師とどういう距離で接したら良いかを考えていました。およそ三か月の入院生活の予定、最初の一か月は解毒及び離脱の期間で一か月が過ぎると病棟が変わる。三か月の入院中は病棟から外に出られない。心配していたが一か月過ぎると病棟階が変わり散歩が許可されているらしい、すこし安心した。知り合った方にはもう何回も入退院を繰り返している人もいると言う。ビックリしたのが入院患者の8割はリピーターで2回や3回は当たり前で多い人は10回以上も繰り返していてせつかく退院したとしても当日や翌日には再飲酒をしまい2~3か月後にはまた入院したり、何年か断酒が続いて成功したかに見えた人でもきっかけが有るとまた再飲酒が始まって、とうとう救急車で運ばれるに至るまでになって再入院の人までいる。これは(もし退院したとしても一生この病院と付き合い合わないといけないのか?)凄く危機感を感じた。

飲酒を止めようとはまではいかないが自分のこれまでの飲酒を振り返るとあまり他人事ではない、周りの入退院を繰り返している人の話を聞きつつ院内では数人の散歩仲間も出来ていった。いよいよ自分も別棟に移動になりカリキュラムも真面目に取り組み、一応目立つ事なく過ぎ3月の終わりに晴れて退院をした。

・・・後半につづきます・・・

## 男性グループホーム「いしすえ」で

夏野菜を育てています。



OB よりスイカを献品して頂き美味しく頂きました。いつもいろいろな献品を頂きありがとうございます。

### お気楽の会 7月の俳句

兼題「重」または自由

幾重にも舐先押上ぐ土用波	夏 の海 重 ね ぬ る 爪 核 貝	八重山の南風浴びたる米軍機	涙 雨 葬 儀 も 終 わ り 蟬 時 雨	百円を握りしめいざ夜店へと	夏 の海 浜 辺 で は し ゃ ぐ 子 供 た ち	雑草に蟬の抜け殻イナバウアー	重 箱 に 筍 飯 を 引 き 詰 め て な ん な ん	幾重にも手花火灯す影法師	六 月 の お り な す 山 の 墨 絵 か な	虹二重空と大地の恋の道	特 選 夏 富 士 や 一 重 二 重 の 雲 の 波 き ん こ
緑青	社 務	並	順	実	天 翔	空 知	幸 千	藤 田	益 田	ハ ナ	岩

## ★7月会費・献金者 献品者★

日本キリスト教会鶴見教会横浜マックを支援する会、服部京子、玉置修、田中美保子、沢辺百合子、藤田州孝、国島豊子、桃尾・松尾・難波法律事務所、松尾真、磯田史子

(敬称略、順不同)

その他、匿名の方々に会費、献金、献品を頂きました。ありがとうございました。

## ★9月メッセージ予定★

- \* 9月2日(金) よしの病院
- \* 9月13日(火) 県立精神医療センター
- \* 9月22日(木) 久里浜医療センター
- \* 9月26日(金) 神奈川病院

その他行事につきましては、新型コロナウイルス感染対策のため開催未定となっております。

令和4年7月利用者報告

所属	新規利用者	継続利用者	合計	利用者合計				
				男性	女性		合計	
病院	神奈川病院	0	3	3				
	久里浜医療センター	0	0	0	16	3	19	
	精神医療センター	0	0	0	利用者年齢別内訳			
	大石クリニック	0	1	1	10代	20代	30代	40代
	大和病院	0	1	1	0	0	2	6
				50代	60代	70代	合計	
施設	まゆの家	0	3	3	7	4	0	19
	いしずえ	1	4	5	修了者内訳			
	GHけやき	0	1	1	就労	AA	その他	合計
	GHわおん	0	1	1	0	0	1	1
	福祉保健センター	0	4	4	中途退所者内訳			
				就労	他施設	その他	合計	
	ネット	0	0	0	0	0	0	
	知人	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0				
	合計	1	18	19				

横浜マックのホームページが5月1日より、リニューアルしました。

## 会員募集のお知らせ

横浜マックは、アルコール・薬物等依存症者の社会参加を支援します。依存症は本人だけの問題に終らず、周りの人々を巻き込んでいく病気です。一人の依存症者の回復は、その周りで苦しんでいる人々を救うことでもあります。皆様方からの支援金は横浜マックにとって大きな収入であり、毎日の事業運営及び依存症の啓発活動の資金として大切に活用させていただいております。皆様、ぜひとも横浜マックを応援してください。

正会員	年額	12,000円	(分割納入可)
法人会員	年額	50,000円	(分割納入可)
賛助会員	年額	1,000円	(3口以上でお願いします)

会費・献金の振り込みは下記の口座へお願いします。

郵便局 00240-6-62177 特定非営利活動法人横浜マック  
 横浜銀行鶴ヶ峯支店 普通 1634881 特定非営利活動法人横浜マック 理事長 宮永 耕

編集人(No.352)  
 特定非営利活動法人横浜マック 理事長 宮永 耕  
 〒241-0023 横浜市旭区本宿町9-1番地6  
 TEL 045-366-2650 FAX 045-366-2651  
<http://yokohama-mac.blue.coocan.jp>

発行 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21  
 定価 ¥100-